

博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 女性看護学分野科

目コード:260004

女性看護学演習 I Seminar in Women's Health Nursing I

担当教員	米田 昌代、桶作梢、原真佑子				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	45		
該当ディプロマ・ポリシー	(1)	○	(2)	◎	(3)
Keywords	文献検索、文献購読、概念、理論、看護モデル、健康行動理論、ヘルスプロモーション、ストレスコーピング、認知行動療法、自己効力感、自尊感情、エンパワメント、ソーシャルサポート、ピアグループ、ヘルスコミュニケーション、関連尺度				
学習目的・目標	<p>文献を活用し、女性看護学その他の関連分野における概念や理論を理解する。</p> <p>女性看護学分野における研究・教育・実践を文献検討を行うことにより学ぶ。</p> <p>エビデンスに基づく援助方法の再確認や新たな援助方法を見出すための研究の糸口を探究する。</p> <p>女性看護を実践するうえでのピアサポートの実際の在り方を学ぶ。</p>				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1-	オリエンテーション 女性看護学の意義・研究に対する基本的理解			講義	米田
2-5	女性看護学に関連する理論・概念の理解 *オリエンテーション時、候補を提示します。			プレゼンテーション・討議	米田・桶作・原
6-7	文献検索の意義と文献整理方法等について 看護研究で学んだ方法の確認			演習	桶作
9-15	プレコンセプションケアに関する学習と活動 時期・内容についてはオリエンテーションで説明します。			演習	桶作
16-23	修士論文のテーマにつながるように、各自の興味のあるテーマについて文献検索・クリティーク 文献検討状況の報告(中間・最終)			プレゼンテーション・討議	米田・桶作・原
教科書	随時紹介する				
参考図書等	随時紹介する				
評価方法・基準	プレゼンテーション(70%)・討議(30%)				
関連科目	看護研究、データ分析方法論、女性看護学特論Ⅰ、女性看護学特論Ⅱ、女性看護学特論Ⅲ、女性看護学演習Ⅱ、特別研究(女性看護学分野)、特別研究(助産看護学分野)				
教員から学生へのメッセージ	女性看護のケアの向上のための研究の基礎となる部分を、学生が主体となって学習していきます。また、各自の取り組む課題を明確にしていくための文献検討の手法を具体的に学び、実践していきます。				